

今年度の農大生の奮闘

東日本農業大学校等プロジェクト発表会で上位入賞

東日本、全国の農業大学校の学生が卒業論文や意見を発表する「プロジェクト発表会・交換大会」が今年度も開催されました。本校の代表となった学生はそれぞれの大会で、地域や自分の家の経営課題を捉え、その解決法や改善案、自らの将来の夢を堂々と発表し、上位入賞を果たすことができました。

平成29年1月19～20日、福島県で行われた東日本農業大学校等プロジェクト発表会・交換大会では、プロジェクト発表の部で野菜経営学科2年の加藤みちるさんが最優秀賞（第1位）を、畜産経営学科2年の鈴木愛花さんが優秀賞（第2位）を受賞しました。意見発表の部では、稲作経営学科2年の田中拓海さんが最優秀賞（第1位）を受賞し、全国大会へ進みました。

続く平成29年2月13～15日に行われた全国農業大学校等プロジェクト発表会・交換大会では、プロジェクト発表の部で鈴木愛花さんが優秀賞（第2位）を受賞しました。受賞された皆さん、おめでとうございませす。今後の活躍を期待します。



フラワー装飾で技能五輪全国大会に出場

平成28年10月21日～24日、山形県で開催された第54回技能五輪全国大会に、花き経営学科2年生早坂真奈さんがフラワー装飾職種の県代表選手として出場しました。全国から61名の選手（うち県5名）が参加し、3作品を5時間かけて制作しました。早坂さんは、ばらを用いた花束、ひまわりとりんどうによる黄と青色の鮮やかなブーケ、きくとりんどうを使った吊り橋をイメージしたテーブルデコレーションを作りしました。入賞はできませんでしたが、フラワー装飾技術の向上、今後の進路に活かせる経験ができました。



全国大会の様子

ヤンマー学生懸賞作文に入選

平成29年1月27日（金）、ヤンマー（株）主催の「第27回ヤンマー学生懸賞論文・作文」の作文の部で、稲作経営学科1年の今野聡さんと果樹経営学科1年の赤間陽平さんが銅賞に入選し表彰を受けました。

今野さんは「私が目指す農業」と題し、特別栽培の良食味米を作って販売したいという自身の夢を、赤間さんは「あのブドウの味を忘れない!」と題し、高校の時に食べたシャインマスカットの味に感動し、それを自分で栽培したいという思いを作文にまとめました。本校の学生がヤンマー学生懸賞作文に入選するのは6年連続となります。



銅賞に入選した二名の学生

県議会議員との意見交換会

平成28年11月28日、5名の県議会議員が来校され、農大生との意見交換会が開催されました。

はじめに、県議会の野川議長より、「若者に県議会を知ってもらって政治参加して欲しい。」との挨拶をいただきました。その後、映像資料を使って、県議会の概要等について説明がありました。

これを受けて学生から、選挙への関心が高まるよう、若者向けのマニフェストがほしいなどの意見が出されました。さらに、6次産業化支援やTPP条約への対応、林業活性化方策に関する質問など、農大生らしい発言が続き、県議会議員から回答していただきました。



県議と意見を交わす学生